

【声明】 社会保障費の大幅削減と、医療保険の目的を逸脱する支援金、将来世代につけを回す「こども特例公債」など、国民負担増による子育て支援財源を盛り込んだ「子ども・子育て支援法改正案」の廃案を求める

2024年4月19日 中央社会保障推進協議会

岸田政権は2月16日、児童手当や育児休業給付の拡充などを盛り込んだ「子ども・子育て支援法」などの改正案を閣議決定し、4月2日の衆議院本会議で法案が審議入りし、4月18日の衆議院特別委員会で可決された。その財源は国と地方をあわせて年間3.6兆円規模の予算で、①社会保障の歳出改革、②社会保険料に上乗せする「支援金制度」、③つなぎとして「こども特例公債」の発行が主な財源となっている。本来「子ども・子育て支援」を具体化する財源は全額公費で賄うものであり、子育て支援を理由にした新たな国民負担増は許されない。

歳出改革の中心は社会保障費の大幅削減である。全世代型社会保障改革の名のもとに、医療・介護など社会保障費の削減と国民負担増（患者負担増・利用料の引き上げ）がターゲットになっていることは、社会保障改革をめぐるこれまでの議論で明らかである。すでに国民健康保険や介護保険、後期高齢者医療保険の現状を見れば、相次ぐ保険料負担や窓口負担、利用料負担の引き上げにより、医療や介護が受けられない事態が広がっており、これ以上の社会保障費の削減と患者負担増に国民は耐えられない。

法案では、年金特別会計の子ども・子育て支援勘定と、労働保険特別会計の雇用勘定を統合し「子ども・子育て支援特別会計」を2025年度に創設し、医療保険料に上乗せして徴収する「子ども・子育て支援金制度」を2026年度に創設するとしている。社会保険料に上乗せする「支援金制度」は、被用者保険の年収200万円で月額一人350円、年収400万円で月額650円、年収800万円で月額1350円と試算され、国民健康保険は世帯によりその2倍以上の負担額になることが予測される。後期高齢者は年収250万円で月額550円、年収300万円で月額750円と試算され、支援金は年々引き上げられる。これは形を変えた新たな大增税に他ならない。

そもそも医療保険の保険料を少子化対策に使うことは、疾病・障害・老齢など健康リスク発生への備えである医療保険の目的を逸脱するものである。社会保険制度の原則を踏み外す「支援金制度」の導入は許されない。また、その支援金を保険者が拠出金として「こども金庫」に納付する財源確保は制度の妥当性を欠いたものである。つなぎとして「こども特例公債」を発行するとしているが、すでに日本の国債残高は2023年度末には1068兆円に達しており、将来世代につけを回すことに他ならない。

防衛費は際限なく増大させる一方で、社会保障費は「少子化対策」を口実に国民に負担増と給付削減を押し付けることは許されない。防衛費の前年比増分だけでも1.1兆円にのぼる。今こそ防衛費の拡大ではなく、社会保障費の拡充に踏み出すべきである。以上のことから、日本の社会保障制度の改善を目指す団体として、社会保障費の大幅削減と、社会保険の目的を逸脱する支援金、将来世代につけを回す「こども特例公債」など、国民負担増による子育て支援財源を盛り込んだ、「子ども・子育て支援法改正案」については廃案を求める立場を表明するものである。

以上

事務連絡 23-30
2024年4月16日

全国各地で国保改善大運動をすすめよう

春の国保改善運動交流集会のご案内

中央社会保障推進協議会

日々の社会保障を守り推進する活動に心より敬意を表します。

2024年4月から各都道府県で第3期国保運営方針（6年間）がスタートしました。

今後、国民健康保険料水準の統一化や法定外繰入の解消がさらに強まり、かつてない規模の国保料の値上げや、不当な差し押さえ、保険証の取り上げなど、いのちや暮らしを脅かす事態がますます懸念されます。

各地から国民健康保険をめぐる実態と運動を交流するとともに討論を深め、新たな国保改善大運動に踏み出す意思統一にしていきたいと思います。

記

日時：2024年6月1日（土）13:30～16:30

場所：日本医療労働会館2階会議室（最大70名）

（東京都台東区入谷1-9-5 地下鉄日比谷線「入谷駅」徒歩5分）

※オンライン配信を行います（参加 Zoom ミーティング）

<https://zoom.us/j/92545276591?pwd=d0ZEb2pyWGVMclVhRlAzQzRoWmRwZz09>

ミーティング ID: 925 4527 6591 パスコード: 480057

集会スケジュール（13時 受付け開始）

13時30分～開会

13時35分～特別報告 2023年「手遅れ死亡事例調査」

報告者：全日本民医連事務局次長 山本淑子さん

14時30分～国保改善大運動の提起（中央社保協）

15時00分～各地での国保改善の取り組み報告・交流

16時20分～討論のまとめ

16時30分 閉会

【春の国保集会 申し込み URL】

<https://docs.google.com/forms/d/1rCwOJpICMkUXgdCd8Unwe0kMnp1GfI8LutkCDKvvt28>

春の国保集会
申し込みはこちら
QRコード



主催：中央社会保障推進協議会 国保部会

問い合わせ：〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5

電話：03-5808-5344 / ファックス：03-5808-5345 / 代表メール：k25@shahokyo.jp

全国各地で国保改善大運動をすすめよう

春の国保改善運動交流集会

2024年6月1日(土)13:30~16:30

日本医療労働会館2階会議室

(東京都台東区入谷1-9-5 地下鉄日比谷線「入谷駅」徒歩5分)

2024年4月から各都道府県で第3期国保運営方針(6年間)がスタートしました。

今後、国民健康保険料水準の統一化や法定外繰入の解消がさらに強まり、かつてない規模の国保料の値上げや、不当な差し押さえ、保険証の取り上げなど、いのちや暮らしを脅かす事態がますます懸念されます。

各地から国民健康保険をめぐる実態と運動を交流するとともに、討論を深め、新たな国保改善大運動に踏み出す意思統一にしていきましょう。



■集会スケジュール (13時 受付け開始)

13時30分~開会

13時35分~特別報告 2023年「手遅れ死亡事例調査」
報告者:全日本民医連事務局次長 山本淑子さん

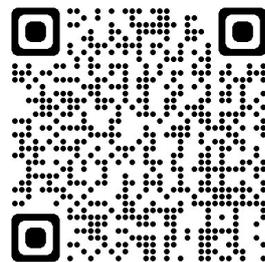
14時30分~国保改善大運動の提起(中央社保協)

15時00分~各地での国保改善の取り組み報告・交流

16時20分~討論のまとめ

16時30分 閉会

春の国保集会
申し込みはこちら
QRコード



■春の国保集会・申し込みURL(必ず申し込みください)

<https://docs.google.com/forms/d/1rCwOJpICMkUXgdCd8Unwe0kMnp1Gfl8LutkCDKvvt28>

■オンライン配信を行います(参加 Zoom ミーティング)

<https://zoom.us/j/92545276591?pwd=d0ZEb2pyWGVMc1VhRlAzQzRoWmRwZz09>
ミーティング ID: 925 4527 6591 パスコード: 480057

主催：中央社会保障推進協議会 国保部会

問い合わせ：〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5 中央社会保障推進協議会

電話03-5808-5344 / ファックス03-5808-5345 / 代表メールk25@shahokyo.jp

2023年度 安心できる国保のために 注文一覧（きかんし発送分）

		注文数
1	全国生活と健康を守る会連合会	70
2	千葉県社保協	1,000
3	埼玉県社保協	200
4	長野県社保協	300
5	青森県社保協	100
6	大阪社保協	500
7	川辺淳二（山口県社保協）	150
8	東京社保協	1,000
9	佐賀県社保協	100
10	鳥取県社保協	100
11	旭川民主商工会	50
12	長野県商工会連合会	100
13	豊島文京民主商工会	10
14	釧路民主商工会	200
15	静岡県商工団体連合会	200
16	鶴岡民主商工会	50
17	群馬県商工団体連合会	285
18	長崎県社保協	26
19	千葉県生活と健康を守る会連合会	300
20	埼玉県商工団体連合会	790
21	岡山県社保協	100
22	岐阜県商工団体連合会	70
23	全日本年金者組合中央本部	100
24	兵庫県商工団体連合会	355
25	大坂商工団体連合会	741
26	広島県労連（植永棟）	100
27	長崎県商工団体連合会	200
28	佐世保民主商工会	600
29	静岡県社保協	400
30	福岡県社保協	100
31	神奈川県保険医協会	200
32	北海道社保協	200
33	愛知県社保協	100
34	年金者組合大阪府本部	100
35	全大阪生活と健康を守る会連合会	300
36	全日本年金者組合熊本県本部	50
37	全大阪生活と健康を守る会連合会	100
38	京都民医連医学生センター	20
39	板橋民主商工会	100
40	神戸医療生活協同組合 本部	50
41	長崎県民主医療機関連合会	100
42	山梨県社会保障推進協議会	100
43	山梨県民主医療機関連合会	400
44	島根県民主医療機関連合会	40
45	川崎市社会保障推進協議会	200
46	神奈川県社会保障推進協議会	400
47	沖縄県民主医療機関連合会	2,000
48	北海道民主医療機関連合会	100
49	埼玉県社会保障推進協議会	100
50	全日本民医連	250
51	郡山医療生活協同組合	300
52	北海道民医連	2,280
53	全国保険医団体連合会	300
54	全国保険医団体連合会	300
55	岐阜県保険医協会	1,750
56	山梨県保険医協会	350
57	千葉県社保協	500
58	全国商工団体連合会	160
59	岩手県社保協	100
60	岡山民主商工会	30

19,277

合計注文数

22,972

		注文数
61	島根県社保協	20
62	神奈川県社保協	200
63	豊川民主商工会	10
64	福岡県商工団体連合会	20
65	沖縄県社保協	200
66	東京民医連	10
67	秋田県社保協	50
68	福岡県保険医協会	25
69	一宮社保協	10
70	島根県本部	30
71	株式会社ファルマ	20
72	宮城県民主医療機関連合会	20
73	高知県社会保障推進協議会	50
74	東京保険医協会	200
75	新潟県民主医療機関連合会	6
76	年金者組合長野県本部	20
77	年金者組合兵庫県本部	50
78	年金者組合岐阜県本部	80
79	岐阜民医連	100
80	日本共産党根室市議会議員団（橋本竜一）	2
81	山田信太郎	2
82	美勢麻里	5
83	塚田 政夫	40
84	香川県社保協	250
85	北海道民医連	400
86	京都社保協	50
87	徳島県社保協	50
88	足立社保協	50
89	年金者組合岡山県本部	120
90	淀川勤労者厚生協会	50
91	和歌山県社保協	100
92	鹿児島県社保協	100
93	和歌山県民医連	200
94	広島県民医連	50
95	牧添三雄	5
96	渡邊さつ子	5
97	今石靖代	4
98	下桐巳津夫	5
99	藤井 明	5
100	田口とし子	5
101	高橋秀子	2
102	楠本昌次郎	10
103	日本共産党長崎県中部地区委員会	10
104	全日本年金者組合福岡県本部	20
105	沖縄県社保協	150
106	密田逸郎	1
107	伊藤廣司	1
108	大澤芳清	2
109	笠原 修	20
110	西岡 知宏	100
111	日本共産党愛知県委員会自治体部	100
112	愛知県社保協	200
113	片岡ちとせ	2
114	坂野光雄	20
115	岡田 ゆき子	1
116	門田 美穂	20
117	時得 孝良	5
118	藤林 シズエ	2
119	京都社保協	100
120	年金者組合愛媛県本部	50
121	埼玉県社保協	60
122	岡山県社保協	100
123	長野県商工団体連合会	100

3,695

事務連絡23-26
2024年3月22日

介護保険制度改善と介護従事者の処遇改善を求める請願署名の 第3次最終提出行動への推進と集約のお願い

中央社会保障推進協議会

日々の社会保障を守り推進する活動に敬意を表します。

厚生労働省は、4月より実施する報酬改定で訪問介護も介護人材不足問題は理解していると答弁していたにもかかわらず、人手不足が最も深刻な訪問介護サービスの報酬の引き下げが行われました。また、全産業平均給与と比べ程遠い水準の介護従事者の処遇改善は待ったなしの課題に対して、処遇改善は「事業所の経営努力によって実施する」など厚生労働省は回答するなど制度の改悪が進んでいます。

中央社保協として、2月29日（木）に開催した第2次の署名提出では臨時国会に23万6187筆を提出しました。行き届いた介護を実現するためには、社会保障費を大幅に増やし、介護保険制度の抜本改善、介護従事者の大幅な処遇改善と増員を図ることが何よりも必要です。制度の改悪をやめ、憲法25条に基づく「介護の社会化」実現に向けて奮闘しましょう。

記

■ 介護保険制度改善と介護従事者の処遇改善を求める院内集会・国会行動

◇ 第3次最終提出

2024年6月3日（月）12:00～13:00

衆議院第2議員会館多目的室 ◎国会内集会後に国会議員への行動を行います。

集会の様子はYouTubeにて配信予定です。

https://www.youtube.com/live/Nh6tY_MvZXw?si=Kd6AhtOhTw3mm6Ki

- ※ 2024年5月27日（月）までに中央社保協事務局までお送りください。
ご持参される場合も集約の関係がありますので署名数をお知らせいただければ幸いです。また、提出の関係で1000筆を一束にまとめていただけると大変助かります。

以上

訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める要請書

「訪問介護事業所がなくなれば住み慣れた家で暮らしていけない」、「親を介護施設に入れざるを得ない」。3年に1度の介護報酬の改定で、訪問介護の基本報酬が4月から引き下げられたことに怒り不安の声が広がっています。身体介護、生活援助など訪問介護は、とりわけ独居の方をはじめ要介護者や家族の在宅での生活を支えるうえで欠かせないサービスです。このままでは在宅介護が続けられず「介護崩壊」を招きかねません。

介護報酬は介護保険から介護事業所に支払われますが、今回の引き下げで訪問介護事業所、とりわけ小規模・零細事業所が経営難に陥り、在宅介護の基盤が壊滅的になる恐れがあります。すでに23年の訪問介護事業所の倒産は67件と過去最多を更新し、ほとんどが地域に密着した小規模・零細事業所です。

厚生労働省は引き下げの理由として、訪問介護の利益率が他の介護サービスより高いことをあげていますが、これはヘルパーが効率的に訪問できる高齢者の集合住宅併設型や都市部の大手事業所が利益率の「平均値」を引き上げているものであり、実態からかけ離れています。

訪問介護はとくに人手不足が深刻です。長年にわたる訪問介護の基本報酬が引き下げられた結果、ヘルパーの給与は常勤でも全産業平均を月額約6万円も下回ります。ヘルパーの有効求人倍率は22年度で1.5・5倍と異常な高水準です。

政府は訪問介護の基本報酬を引き下げても、介護職員の処遇改善加算でカバーできるとしていますが、すでに加算を受けている事業所は基本報酬引き下げで減収となり、その他の加算も算定要件が厳しいものが多く、基本報酬引き下げ分をカバーできない事業所が出ると予想されます。今回の介護報酬改定では介護職員の処遇改善のため報酬を0.98%引き上げるとしています。これにより厚生労働省は職員のベースアップを24年度に月約7500円、25年度に月約6000円と見込みます。しかし財源の根拠が不明確でベースアップが確実に実行される根拠はありません。このままでは介護人材の確保はますます困難になるだけです。

私たちは、訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを強く求めます。

私が伝えたいこと(現場の実態を知ってください)

事業所名・団体名・個人名

所在地・住所

氏名

〇〇議会 議長 殿

請願(陳情)者

住所

氏名 〇〇社会保障推進協議会 〇〇 〇〇 印

紹介議員(陳情の場合は不要) 印

訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める請願(陳情)書(モデル案)

【請願(陳情)趣旨】

「訪問介護事業所がなくなれば住み慣れた家で暮らしていけない」、「親を介護施設に入れざるを得ない」。3年に1度の介護報酬の改定で、訪問介護の基本報酬が4月から引き下げられたことに怒り不安の声が広がっています。身体介護、生活援助など訪問介護は、とりわけ独居の方をはじめ要介護者や家族の在宅での生活を支えるうえで欠かせないサービスです。このままでは在宅介護が続けられず「介護崩壊」を招きかねません。

介護報酬は介護保険から介護事業所に支払われますが、今回の引き下げで訪問介護事業所、とりわけ小規模・零細事業所が経営難に陥り、在宅介護の基盤が壊滅的になる恐れがあります。すでに23年の訪問介護事業所の倒産は67件と過去最多を更新し、ほとんどが地域に密着した小規模・零細事業所です。

厚生労働省は引き下げの理由として、訪問介護の利益率が他の介護サービスより高いことをあげていますが、これはヘルパーが効率的に訪問できる高齢者の集合住宅併設型や都市部の大手事業所が利益率の「平均値」を引き上げているものであり、実態からかけ離れています。

訪問介護はとくに人手不足が深刻です。長年にわたる訪問介護の基本報酬が引き下げられた結果、ヘルパーの給与は常勤でも全産業平均を月額約6万円も下回ります。ヘルパーの有効求人倍率は22年度で1.5・5倍と異常な高水準です。

政府は訪問介護の基本報酬を引き下げても、介護職員の処遇改善加算でカバーできるとしていますが、すでに加算を受けている事業所は基本報酬引き下げで減収となり、その他の加算も算定要件が厳しいものが多く、基本報酬引き下げ分をカバーできない事業所が出ると予想されます。今回の介護報酬改定では介護職員の処遇改善のため報酬を0.98%引き上げるとしています。これにより厚生労働省は職員のベースアップを24年度に月額7500円、25年度に月額6000円と見込みます。しかし財源の根拠が不明確でベースアップが確実に実行される根拠はありません。このままでは介護人材の確保はますます困難になるだけです。

以上の趣旨から、下記事項につき、地方自治法第99条にもとづき、内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣に対する意見書の提出を決議していただくよう請願(陳情)いたします。

【請願(陳情)項目】

1. 訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うこと

これまで集めてきた署名を提出します！

12月2日の保険証廃止はありえない！

保険証残せ！

100万人の声



現場の声を聞いてください！

医療・介護・保険者・患者など

国会議員あいさつ

WEB配信

[https://youtube.com/live/3f45MagfzmU?
feature=share](https://youtube.com/live/3f45MagfzmU?feature=share)



4/25(木)

12:00 ~ 13:10

会場：衆議院第1議員会館

大会議室（地下1F）

主催：医療団体連絡会議（医労連・全日本民医連・
医療福祉生協連・新医協・保団連）、
中央社保協、マイナンバー制度反対連絡会

保険証残せ！署名提出集会

健康保険証の存続等を求める自治体意見書採択状況

中央社会保険推進協議会

	都道府県	議会	意見書名など	採択日	意見書
1	北海道	安平町	1 健康保険証の存続を求める意見書	2023年9月21日	1
		ニセコ町	1 健康保険証廃止の見直しを求める意見書	2023年3月7日	1
		美幌市	1 現行の健康保険証の存続を求める意見書	2023年9月22日	1
		北広島市	1 現行の健康保険証の存続を求める意見書	2023年9月2日	1
		江差町	1 現行の健康保険証の存続を求める意見書	2023年9月15日	1
		森町	1 現行の健康保険証の存続を求める意見書	2023年9月19日	1
		浦河町	1 現行の健康保険証の廃止の延期を求める意見書	2023年9月19日	1
		漂町	1 現行の健康保険証の存続を求める意見書	2023年9月19日	1
		南幌町	1 現行の健康保険証の存続を求める意見書	2023年9月20日	1
		滝川町	1 現行の健康保険証の存続を求める意見書	2023年9月22日	1
		網走市	1 現行の健康保険証の当面存続を求める意見書	2023年9月28日	1
		札幌市〇	1 現行の健康保険証の存続を求める意見書	2023年10月31日	1
		新得町	1 現行の健康保険証の存続を求める意見書	2023年9月1日	1
		新ひだか町	1 現行の健康保険証の存続を求める意見書	2023年12月14日	1
		足寄町	1 現行の健康保険証の存続を求める意見書	2023年12月19日	1
		伊達市	1 現行の健康保険証の存続を求める意見書	2024年3月15日	1
2	青森県	五所川原市	1 健康保険証の廃止をしないよう求める意見書を政府に送付することを求める請願書	2023年12月14日	1
		鱸ヶ沢町	1 健康保険証の廃止をしないよう求める意見書	2023年12月13日	1
3	秋田県	五城目町	1 健康保険証廃止の中止を求める意見書	2023年12月14日	1
		羽後町	1 健康保険証廃止の中止を求める意見書	2023年12月11日	1
		井川町	1 健康保険証廃止の中止について国に意見書提出を求める陳情	2023年12月8日	1
		八郎潟町	1 健康保険証廃止の中止について国に意見書提出を求める陳情	2023年12月15日	1
		藤里町	1 健康保険証廃止の中止を求める意見書	2023年12月15日	1
		上小阿仁村	1 健康保険証廃止の中止について国に意見書提出を求める陳情	2023年12月7日	1
		小坂町	1 健康保険証廃止の中止について国に意見書提出を求める陳情	2023年12月7日	1
		北秋田町	1 健康保険証廃止の中止を求める意見書	2023年12月19日	1
		潟上市	1 健康保険証廃止の中止について国に意見書提出を求める陳情	2023年12月21日	1
4	岩手県	岩手県〇	1 健康保険証廃止の中止等を求める意見書	2023年7月7日	1
		紫波町	1 健康保険証廃止の中止等を求める意見書	2023年9月22日	1
5	山形県	庄内町	1 健康保険証を廃止しないよう求める意見書	2023年9月25日	1
		大蔵村	1 健康保険証を廃止せず存続を求める意見書	2023年12月8日	1
		河北町	1 健康保険証を廃止せず存続を求める意見書	2023年12月8日	1
		川西町	1 健康保険証を廃止せず存続を求める意見書	2023年12月15日	1
		南陽市	1 健康保険証を廃止せず存続を求める意見書	2023年12月21日	1
		天童市	1 健康保険証を廃止せず存続を求める意見書	2023年3月21日	1
6	福島県	喜多方市	1 健康保険証廃止の中止・撤回とマイナンバーカードの取得強制に反対する意見書	2023年9月22日	1
		喜多方市	0 健康保険証廃止の撤回とマイナ保険証の制度改正を求める意見書提出の請願（みなし採択）	2023年9月22日	0
		会津坂下町	1 国民皆保険制度の象徴でもある現行の健康保険証の存続を求める意見書	2023年9月28日	1
		西郷村	1 健康保険証廃止の中止を求める意見書	2023年12月15日	1
		葛尾村	1 健康保険証廃止における丁寧な対応を求める意見書	2023年12月15日	1
		中島村	1 健康保険証廃止の中止を求める意見書	2024年12月6日	1
		大玉村	1 健康保険証廃止の中止を求める意見書	2023年12月8日	1
		三春町	1 健康保険証廃止の中止を求める意見書	2023年12月7日	1
		桑折町	1 健康保険証廃止の中止を求める陳情（趣旨採択）	2023年12月13日	0
		金山町	1 健康保険証廃止の中止を求める意見書	2023年12月27日	1
		小野町	1 健康保険証廃止の中止を求める意見書	2023年12月13日	1
7	宮城県	岩沼市	1 現行の健康保険証の存続を求める意見書	2023年11月24日	1
		角田市	1 現行の健康保険証の存続を求める意見書	2024年3月14日	1
		色麻町	1 現行の健康保険証の存続を求める意見書	2024年3月22日	1
8	東京都	溝布市	1 現行の健康保険証の存続を求める意見書	2023年9月25日	1
		小金井市	1 現行の健康保険証の存続を求める意見書	2023年9月25日	1
		八丈町	1 健康保険証を当面廃止しないよう求める意見書	2023年12月19日	1
		渋谷区	1 現行の健康保険証とマイナ保険証の両立を求める意見書	2024年3月21日	1
9	埼玉県	北本市	1 改正マイナンバー法を見直し健康保険証の継続を求める意見書	2023年6月28日	1
		鳩山町	1 改正マイナンバー法を見直し健康保険証の継続を求める意見書	2023年6月14日	1
		三芳町	1 健康保険証の廃止を中止することを求める意見書	2023年6月20日	1
		八潮市	1 健康保険証の一律廃止の撤回を求める意見書	2023年9月21日	1
		越生町	1 国民健康保険証の継続を求める意見書	2023年9月11日	1
		皆野町	1 改正マイナンバー法を見直し、健康保険証の継続を求める意見書	2023年12月13日	1
10	神奈川県	座間市	1 従来型（紙）健康保険証の存続を求める意見書	2023年6月21日	1
		座間市	0 現行（紙）の健康保険証の存続を求める意見書	2023年9月29日	1
		愛川町	1 現行の（紙の）健康保険証の存続を求める意見書	2023年9月15日	1
		愛川町	0 従来型（紙）健康保険証の存続を求める陳情（みなし採択）	2023年9月15日	0
		清川村	1 従来型（紙）健康保険証の存続を求める陳情（趣旨了済）	2023年9月20日	0
		清川村	0 現行の（紙の）健康保険証の存続を求める陳情（趣旨了済）	2023年9月20日	0
		海老名市	1 マイナ保険証への理解促進と従来型健康保険証原則廃止への不安払拭を求める意見書	2023年9月29日	1

		鎌倉市	1	紙の健康保険証廃止について停止し、見直しを求める意見書	2023年10月3日	1
		座尾納町	1	従来型(紙)の健康保険証の存続を求める意見書	2023年10月3日	1
		葉山町	1	現行(紙)の健康保険証の存続を求める意見書	2023年10月12日	1
11	千葉県	鋸南町	1	「健康保険証を残してください」保険証存続を求める意見書	2023年12月15日	1
		東庄町	1	マイナンバーカードの安全と信頼の確保及び現行の健康保険証廃止の延期を求める意見書	2024年3月15日	1
		御宿町	1	「健康保険証を残してください」保険証存続を求める意見書	2024年3月14日	1
12	山梨県	上野原市	1	改正マイナンバー法を見直し健康保険証の継続を働きかける意見書	2023年9月5日	1
		都留市	1	改正マイナンバー法を見直し、健康保険証の存続を働きかける意見書	2023年9月29日	1
13	新潟県	胎内市	1	健康保険証の存続を求める意見書	2023年10月3日	1
		聖籠町	1	健康保険証の廃止をしないよう求める意見書	2023年12月19日	1
14	長野県	松本市	1	「健康保険証」の継続を求める意見書	2023年6月29日	1
		駒ヶ根市	1	安全で安心な国民皆保険を支える健康保険証システムの運用を求める意見書	2023年9月26日	1
		軽井沢町	1	「健康保険証」存続を求める意見書	2023年9月21日	1
		立科町	1	マイナンバー制度による健康保険証廃止方針の撤回を求める意見書	2023年6月26日	1
		安曇野市	1	健康保険証の継続を求める意見書	2023年9月22日	1
		安曇野市	0	健康保険証の存続を求める意見書	2023年9月22日	1
		長和町	1	改正マイナンバー法を見直し、健康保険証の継続を求める意見書	2023年9月21日	1
		佐賀輪村	1	健康保険証の存続を求める意見書	2023年9月15日	1
		宮田村	1	健康保険証の継続を求める意見書	2023年9月20日	1
		阿南町	1	「健康保険証」の存続を求める意見書	2023年9月28日	1
		泰阜村	1	「健康保険証」の存続を求める意見書	2023年9月25日	1
		下條村	1	「健康保険証」の継続を求める意見書	2023年9月28日	1
		飯島町	1	健康保険証利用に国民目録の改善を求める意見書	2023年9月25日	1
		青木村	1	健康保険証の存続を求める意見書	2023年9月19日	1
		栄村	1	「健康保険証」の存続を求める意見書	2023年9月14日	1
		富士見町	1	「健康保険証」の存続を求める意見書	2023年9月22日	1
		北栢木村	1	「健康保険証」の存続を求める意見書	2023年9月25日	1
		麻績村	1	健康保険証の存続に関する意見書	2023年9月25日	1
		山形村	1	「健康保険証」の存続を求める意見書	2023年9月25日	1
		松川村	1	現行の健康保険証存続を求める意見書	2023年9月25日	1
		白馬村	1	現行の健康保険証の存続を求める意見書	2023年9月25日	1
		座尾木村	1	マイナンバー制度による健康保険証廃止方針の撤回を求める意見書	2023年9月27日	1
		朝日村	1	「健康保険証」の存続を求める意見書	2023年9月28日	1
		小布施町	1	「健康保険証」の存続を求める意見書	2023年9月議会	1
		原村	1	現行の「健康保険証」廃止の延期を求める意見書	2023年9月議会	1
		南木曾町	1	健康保険証の存続に関する意見書の提出を求める事情(趣旨採択)	2023年9月15日	0
		大滝村	1	採択(詳細確認中)	2023年9月議会	1
		大桑村	1	健康保険証の存続に関する意見書	2023年10月4日	1
		飯山市	1	現行の健康保険証の存続を求める請願(趣旨採択)	2023年9月21日	0
		飯綱町	1	「健康保険証」の存続に関する意見書	2023年12月14日	1
		野沢温泉村	1	マイナンバーカード・マイナ保険証に関しては、国民に十分な納得・理解を得られるように進め	2023年9月議会	1
		池田町	1	現行の健康保険証の継続を求める意見書	2023年12月19日	1
		池田町	0	従来型(紙)健康保険証の存続を求める意見書	2023年12月19日	1
15	静岡県	磐田市	1	マイナンバーカードの安全と信頼の確保の取組を求める意見書(保険証廃止も言及)	2023年10月11日	1
16	愛知県	設楽町	1	健康保険証の存続を求める意見書	2024年3月26日	1
17	滋賀県	愛荘町	1	マイナンバーカードシステムのセキュリティ強化とマイナ保険証の見直しを求める意見書	2023年6月22日	1
18	京都府	長岡京市	1	「健康保険証の原則廃止」撤回を求める意見書	2023年6月26日	1
		向日市	1	健康保険証の原則廃止の撤回を求める意見書	2023年9月22日	1
		精華町	1	マイナンバーカードの健康保険証利用による健康保険証の廃止に慎重な対応を求める意見書	2023年4月3日	1
		精華町	0	健康保険証の存続を求める意見書	2023年9月26日	1
19	兵庫県	川西市	1	健康保険証の存続を求める意見書	2023年12月22日	1
20	奈良県	河合町	1	健康保険証廃止の見直しを求める意見書	2023年6月21日	1
		大和高山市	1	健康保険証の廃止の延期を求める意見書	2023年9月27日	1
21	広島県	尾道市	1	健康保険証の継続を求める意見書	2023年9月20日	1
		庄原市	1	「健康保険証」の存続を求める意見書	2023年9月28日	1
		廿日市	1	健康保険証の廃止延期を求める意見書	2024年3月21日	1
22	高知県	いの町	1	健康保険証の廃止撤回を求める意見書	2023年9月15日	1
		芸西村	1	現行健康保険証の存続を求める意見書	2023年9月25日	1
		安芸市	1	健康保険証廃止は慎重に進めることを求める意見書	2023年6月5日	1
23	香川県	三木町	1	健康保険証廃止の再考を求める意見書	2023年9月14日	1
24	徳島県	吉野川市	1	健康保険証の廃止を中止するよう求める意見書	2023年12月15日	1
25	福岡県	中間市	1	マイナンバーカードと被保険者証の一本化に反対する意見書	2022年12月13日	1
		中間市	0	健康保険証の存続を求める意見書	2023年9月28日	1
		柳川市	1	現行「健康保険証」廃止の見直しを求める意見書	2023年9月19日	1
		直方市	1	健康保険証の存続を求める意見書	2023年9月28日	1
		行橋市	1	健康保険証の存続を求める意見書	2023年9月28日	1
		みやこ町	1	健康保険証の存続を求める意見書	2023年9月22日	1
		糸田町	1	健康保険証の存続を求める意見書	2023年9月25日	1
		鞍手町	1	健康保険証の存続を求める意見書	2023年9月26日	1

		田川市	1	健康保険証を廃止しないよう求める意見書	2023年10月5日	1
		小竹町	1	健康保険証の存続を求める意見書	2023年9月22日	1
26	佐賀県	鳥栖市	1	健康保険証廃止の見直しを求める意見書	2023年9月21日	1
		祐埼市	1	健康保険証廃止の継続を求める意見書	2023年10月5日	1
27	長崎県	時津町	1	現行の健康保険証の存続を求める意見書	2023年12月15日	1
28	宮崎県	国富町	1	健康保険証を廃止しないよう求める意見書	2023年9月28日	1
		綾町	1	健康保険証を廃止しないよう求める意見書	2023年9月26日	1
29	鹿児島	垂水市	1	健康保険証の存続を求める意見書	2023年12月15日	1
30	沖縄県	中城本	1	健康保険証廃止の中止等を求める意見書	2023年9月27日	1
		大宜味村	1	健康保険証の存続を求める意見書	2023年9月22日	1
		北谷町	1	健康保険証の存続を求める意見書	2023年9月28日	1
自治体数		138	◎は県議会、○は政令指定都市		2024年4月19日現在	139

憲法25条を守り活かそう
防衛費の拡大より社会保障の拡充こそ

春の25条集会

2024年5月16日(木)12:00~15:00
衆議院第1議員会館 大会議室

政府が進める防衛費増計画により、社会保障費の削減や、社会保障に関わる国民負担増が相次いでいます。私たちが目指す社会は、憲法にもとづき、政府の責任でいのち・暮らし・人権を最優先する社会への転換です。いまこそ「防衛費の拡大より社会保障の拡充を」の声を大きく広げる時ではないでしょうか。

生活保護は憲法25条が定める生存権保障の岩盤です。生活保護引き下げ阻止のたたかいを含めてこの春、あらためて憲法25条に基づく人権としての社会保障をめざして学び、行動を広げましょう。

■集会スケジュール (11時30分 受付け開始)

12時00分~開会・国会議員あいさつなど

12時20分~記念講演 人権としての社会保障実現に向けて
いのとり裁判全国アクション共同代表
木下秀雄さん(大阪市立大学名誉教授)

13時20分~当事者からの告発

いのちのとりで裁判 原告の皆さん

高齢者、障がい者、労働者からの実態告発

14時30分~集会アピールと行動提起

15時00分 閉会 ※集会後、厚労省・国会議員要請



■オンライン配信を行います(参加 Zoom ミーティング)

<https://zoom.us/j/92218731809?pwd=OVZFTGJJSXVXdUY4TUJFNjNMQmd5dz09>
ミーティング ID: 922 1873 1809 パスコード: 928379

主催: 「憲法25条を守り、活かそう」共同実行委員会

事務局団体: 中央社保協/きょうされん/福祉保育労/障全協/全生連/日本高連/
いのちのとりで裁判全国アクション

問い合わせ: 〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5 中央社会保障推進協議会
電話03-5808-5344 / ファックス03-5808-5345 / 代表メールk25@shahokyo.jp

国の制度として、18歳までの医療費を無料に リスタート集会

2024年

5月29日 12:00~13:30

WEB
併用



議員会館・Zoom配信

※会場は確定次第、お知らせします。



ホーム
ページ
は
こ
ち
ら
へ

主催：子ども医療全国ネット

(子ども医療費無料制度を国に求める全国ネットワーク)

内容（予定）：

- ゲスト発言
- 署名提出
- 運動の到達と再提起
- 各地の取り組み報告 他



私たちが乳幼児医療全国ネットとして取り組みを始めてから約20年、地域住民、医療関係者などの強い要望と運動で、自治体による子どもの医療費助成は大きく広がっています。

こうした動きも背景に、政府は今年4月から子ども医療費助成を行う自治体に対するペナルティを18歳まで廃止にします。今こそ国による子ども医療費無料制度の創設が強く求められています。

2022年10月から集めてきた「18歳までの医療費窓口負担無料の国制度の創設、国保のペナルティ完全廃止」を求める請願署名の第二次提出と運動の再スタートを切る集会を開催します。

全国からのご参加をお待ちしています！！

★集会参加のお申込み★

新日本婦人の会、医療福祉生協連、全日本民医連、全国保険医団体連合会、中央社保協までお申込みください。
上記の団体加盟以外の方は、undow@doc-net.or.jpにご連絡をお願いします。

★集会資料★

子ども医療全国ネットのHP (<https://kodomoiryou.jimdofree.com/>) に前日までにアップいたします。

★お問い合わせ★

全国保険医団体連合会まで（電話：03-3375-5190）